

ADB、インドの成長率を 2008、09 年とも下方修正へ

【香港、2008 年 9 月 16 日】 アジア開発銀行(ADB)は 16 日、最新の経済見通しである「[アジア開発展望 2008 年改訂版](#)」(ADOU)を発表した。それによると、インド経済は 2008 年および 2009 年(いずれも会計年度)に著しく減速し、5 年続いた超高成長時代は終わることになるだろう。

ADOU によれば、インドの成長率は 2008 年度には 7.4%、2009 年度はさらに 7.0%に下がる見通し。今回の予測は ADB が前回発表した見通しである 8%(2008 年度)、および 8.5% (2009 年度)からの下方修正であるほか 2007 年度(2007 年 4 月~2008 年 3 月)に達成された 9%からも大きく後退する。

ADOU は、近年力強い成長を遂げてきたインド経済が現在厳しい状況下にあるとして、対応能力が制約されてきたり、信用市場の急速な拡大が続いていること、また、コモディティ価格が国際的に上昇していることが重なり、インド国内にインフレを引き起こしていると指摘している。

ADOU はまた、コモディティの国際価格と、補助金に支えられる形でインドの国内需要が伸びていることが引き続き物価上昇圧力をもたらすと警告する一方、インド政府のインフレ抑制策-金融引き締めのほか、関税引下げや重要な商品の禁輸などの暫定的な介入を行う-の効果は限定的なものにとどまっていると指摘。インドの実質金利は下がっているほか、卸売物価指数にもとづく予測インフレ率は 2008 年度が 11.5%、09 年度が 7.5%に上方修正されている。

[ADB チーフエコノミストのイフサル・アリ氏](#)は、「インド経済は現在、重要な転換期にさしかかっており、インフレを抑制し、マクロ経済を安定させる施策は正念場を迎えている」と述べている。

インドの GDP は 2008 年度第一四半期（2008 年 4 月～6 月期）には 7.9%と、過去 3 年半で最も低い伸び率を記録したが、経済成長減速は広範囲に及ぶものだった。最も著しく落ち込んだのは工業で、これによって製造業の成長率が従来の半分と伸び悩んだ。

金利が高く、経済予測が国内外で弱含んだことにより、インド企業は設備投資を縮小した。設備投資が伸び悩む状態は、ビジネスのコンフィデンスが冷え込めば、さらに続くだろう。政府としてはインフレ抑制のため金融引き締めと金利高を維持せざるを得ない以上、企業にとって国内銀行からの資金借り入れは益々難しく、金融機関においてリスクアペタイトが縮小している現状では海外からも資金調達はずらく、選択肢は限られている。

インドの貿易・経常収支赤字はここ数年拡大してきているが、その背景には、個人消費と企業投資の双方における需要急増に伴って、石油価格が高騰し、非石油製品の輸入が拡大したことがある。

インドの外貨準備は 2008 年度の最初の 5 ヶ月間（2008 年 4 月～8 月末）で 130 億ドル相当額減少したことから、純資本流入は、1 年前に比べはるかに低いレベルにあるが、会計年度の GDP 予測の 2 割を超える累積残高があるため、外的なインパクトに対して、きわめて有効な緩衝材となっている。ADOU は、石油や肥料、食糧の補助金の増大に加え、予算外の負債が、こうした財政の不均衡を生み出したとしている。

アリ氏は「補助金をカットすることは容易な政策ではないが、補助金を維持してしまうと、ここ数年のような高成長路線の再現にとって障害となりうるだろう」と述べている。

お問い合わせ先

駐日代表事務所

広報担当：望月 章子

T: +81 3 3504-3441/3160

E-mail: amochizuki@adb.org

ADB のニュースリリース（和文）は、下記 URL にてもご覧いただけます。

<http://www.adb.org/JRO/doc-news.asp>

ADOU はまた、インドはマクロ経済運営面でも深刻なジレンマに陥っているとしている。引き締めを継続すれば経済成長が脅かされかねず、一方で、補助金を現行水準に保つ上で必要な資金を調達するには信用市場に対し急速な拡大という圧力をかけることになり、チェックを怠ると、インフレ悪化を招くおそれがあるからだ。従って名目・実質の双方で利上げを行うという引締め強化策がとられることになる。

この点についてアリ氏は、「物価高や収支の悪化に対処する一方で、インドが持っている巨大な経済的ポテンシャルを実現するためには構造改革も行わなければならない、政府は経済政策面で難しい舵取りを強いられるだろう」としている。

お問い合わせ先

駐日代表事務所

広報担当：望月 章子

T: +81 3 3504-3441/3160

E-mail: amochizuki@adb.org

ADB のニュースリリース (和文) は、下記 URL にてもご覧いただけます。

<http://www.adb.org/JRO/doc-news.asp>